

## 第21回 千城台地区学校適正配置地元代表協議会 議事要旨（確定版）

1 日 時 平成25年10月18日（金） 18時30分～20時30分

2 場 所 千城台公民館 2階ホール

### 3 出席者

- (1) 委 員 18人 \*欠席 4人 鶴岡委員、山崎委員、  
中村委員（代理出席：諸橋氏）、  
中菌委員（代理出席：手島氏）
- (2) 事務局 6人 \*教育委員会企画課 大崎課長、池田統括管理主事、市倉課長補佐、  
小口主査、安井主査補、望月主査補
- (3) 傍聴者 6人

### 4 報告・議題

- (1) 協議会委員の確認について
- (2) 【報 告】 前回協議会およびそれ以降の動きについて
- (3) 【議題1】 千城台地区の適正配置について
- (4) 【議題2】 次回開催日時・場所について
- (5) 【議題3】 その他

### 5 会議資料

資料1：第14～20回千城台地区学校適正配置地元代表協議会（概要）

資料2：協議の進め方

資料3：学校適正配置の必要性

資料4：中学校の生徒数推計・統合シミュレーション

資料5：千城台地区中学校に在籍する生徒の居住分布状況

参考資料1：協議の論点整理表

参考資料2：生徒・児童推計

参考資料3：シミュレーションA（2番）・B（5番）の比較

参考資料4：千城台地区小・中学校の施設概要

参考資料5：過去の協議会（第1～第5回）における中学校適正配置に関する主な意見

### 6 議事の概要

#### (1) 協議会委員の確認

千城台旭小学校区内自治会代表の委員について、千城台第五団地若鳩会の会長交代に伴い、児玉委員から協議会委員変更の申し出があったことを受け、新会長の中菌氏となることが確認・承認された。

#### (2) 【報 告】 前回協議会およびそれ以降の動きについて

事務局が前回協議会での協議内容について説明した後、それ以降の各学校や自治会等で行われた話し合いや活動について協議会委員から報告を行った。

(3) 【議題 1】千城台地区の適正配置について

事務局が、「学校適正配置の必要性」「中学校の生徒数推計・統合シミュレーション」「千城台地区中学校に在籍する生徒の居住分布状況」を中心に説明を行った後、協議を行った。

その結果、次回も引き続き、中学校の統合協議を行うことが確認された。

(4) 【議題 2】次回開催日時・場所について

次回協議会は、平成 26 年 1 月 10 日（金）18 時 30 分から 20 時 30 分、場所は千城台公民館にて開催することとした。

(5) 【議題 3】その他

特に協議事項なし

## 7 発言要旨

### (1) 会長挨拶（氏家会長）

前回協議会において、小学校の統合については平成 27 年 4 月の統合が見送られた。統合時期については、今後の協議の推移を見ながら、決定していくことになる。

本日は、小学校の統合シミュレーションの決定に関わる中学校の統合について協議を行うことになっている。千城台地区の小・中学校をどうするか、総合的に判断して進めていただきたい。

### (2) 報 告

#### 報告 前回協議会およびそれ以降の動きについて

〈菅原議長〉 「前回協議会およびそれ以降の動き」について、事務局から報告をお願いします。

〈事務局〉 「前回の協議」については、資料 1・2 をご覧いただきたい。既に議事要旨が確定されているので、簡単に説明する。

（前回協議された概要）

○中学校の適正配置の必要性について先に協議を行い、それを踏まえて小学校の統合協議を行うことが確認された。

これを踏まえて、資料 2 を修正したので、説明する。（資料 2 の説明）

次に、「前回協議会以降の動き」について報告する。

○8 月 27 日に千城台西県住自治会会長から西小学区の児童が増えること、通学距離、自然環境を勘案し、千城台西小を残してほしいという旨の要望書が提出された。

この取扱いについては、この協議会で報告するとともに、千城台西小学区の自治会代表である綿貫委員にも要望書をお渡しし、今後の協議の中で自治会からの意見として反映させていただくことでご理解いただいた。

〈菅原議長〉 ただ今の報告について、質問があるか。

〈一同〉 特になし

〈菅原議長〉 次に、前回の協議会以降、各団体で話し合いをしてきている団体があれば、ご報告をお願いしたい。

〈大和久委員〉 西小では、PTA 本部の理事に対して前回協議会の報告を行った。小学校については 27 年 4 月の統合が先送りになったこと、小中連携については協議会で賛同を得られたこと等を書面で伝えた。

〈佐々木委員〉 東小では、PTA 本部役員に対して、9 月 5 日に前回協議会について報告し、10 月 3 日には氏家会長と谷野委員に来てもらい、説明会を行った。

- 〈栗山委員〉 南小では、9月14日の常任委員会で前回協議会の報告を行い、統合シミュレーションについての意見を吸い上げた。結果としては、B案は95%、A案は5%となり、南小としてはB案とすることを確認した。中学校については、統合賛成が多数であった。
- 〈奥田委員〉 旭小では、5・6年の保護者及び児童に対して、中学校の統合についてのアンケートを行った。保護者の意見としては、統合に賛成の意見が多かった。具体的には、メリットとしては、部活動は他の部活から部員を借りて試合に出ているのが現状であると聞いているが、統合して人数が増えれば、その問題も解決でき、部活自体も活発になること、また、人数が増えることにより、学習も高められることがあげられた。一方、デメリットとしては、通学距離や時間が延びるなど、一般的な理由が出された。児童に対しては、中学校が統合した場合とこのまま統合されない場合について聞いてみた。中学校が統合した場合のメリットとしては、部活動の人数が増える、デメリットとしては、人数が多くなることにより、人間関係が希薄になることがあげられた。統合しない場合は、体育祭などの学校行事が盛り上がらないという意見が多かった。また、役員会等での意見として、中学校が1つに統合した場合はそれに従う。統合しない場合は高校に入った時に人数が多くて不適應になる生徒が増えるのではないかという意見があげられた。
- 〈笹川委員〉 9月の役員会で、前回協議会で小学校の統合が先送りになったことを報告した。
- 〈諸橋氏〉 8月の役員会で報告し、協議した。結果としては、中学校は2校とも残す、小学校はA案がよいということになった。
- 〈綿貫委員〉 教育委員会から資料を送付してもらい、自治会に説明した。地域としては、中学校を2校とも残したいという意見が多かった。
- 〈谷野委員〉 自治会役員には、小学校の統合が先送りになったことを報告した。10月3日には東小の本部役員に対して、氏家会長と一緒に説明に伺い、協議会の状況を説明した。
- 〈多田委員〉 10月12日の役員会および班長会議で、小学校の統合が先送りになったことを報告した。中学校については、まだ説明していない。今までの意見としては、中学生になれば、多少通学距離が長くなっても支障がないだろう、逆に現状に問題がなければ、そのまま残しておいてもよいのではないかということが出ている。
- 〈鈴木委員〉 特に話し合っていないが、まずは小学校の代表に対して、クラス替えができない状況について、保護者はどう受け止めているのか聞いてみたいので、願います。
- 〈奥田委員〉 旭小では、1・2年生が単学級となり、PTAの役員選出等にも支障をきたしている。人間関係がこじれた場合、クラス替えができないと修復が難しいことから、統合してほしいという意見が出ている。
- 〈佐々木委員〉 東小では、小学校の統合時期が先送りになったこと、小学校側としてはB案としたい旨を説明している。東小は各学年2学級以上であるが、千城台地区の小学校は単学級化が進み、専科教員が配置されていない学校が多い状況である。これは、子どもたちが平等の教育を受けられていると言えるのか。保護者からは、子どもの時に鼓笛隊をやっていたが、今はないのは音楽の専科教員がいないからではないかという意見が出ている。
- 〈大和久委員〉 西小では、PTAの常任委員会で統合が先送りになったことを報告した際に、残念だという声があがった。協議会では、真摯に協議しているが、合意までに時間がかかっている。小学校側はB案、自治会側はA案で意見が異なっている。なぜ、自治会側はA案なのかという意見が出ている。

〈植田委員〉 北小では、4年生が18人の単学級となっており、6年生となる27年4月の統合が決まった場合、人数が増えていいねという声が出ていた。

〈栗山委員〉 南小では、特に反応はない。

### (3) 協 議

#### 議題(1) 千城台地区の適正配置について

〈菅原議長〉 まず、事務局から説明をお願いします。

〈事務局〉 前回協議会の結果から、「中学校における適正配置の必要性について協議を行い、それを踏まえて今後、小学校の統合協議を行う」ことになっているので、今回は事務局から中学校の学校適正配置に関する基本的な資料を用意した。

資料3「学校適正配置の必要性」、資料4「中学校の生徒数推計・統合シミュレーション」、資料5「千城台地区中学校に在籍する生徒の居住分布状況」、参考資料5「千城台地区中学校に在籍する生徒の居住分布状況」を中心に説明する。～説明～

※参考資料1～4については、前回と同様の資料である。

〈菅原議長〉 事務局の説明を踏まえて、協議に入る。既にそれぞれの中学校PTAが行ったアンケート結果やその時出された意見は、前々回の協議会で報告いただいているが、改めて両中学校の意見と報告をお願いします。

〈笹川委員〉 南中では、6月に全校の生徒と保護者に対してアンケートを行った。生徒は372名中345名が回答した。結果は統合に賛成15%、反対が75%、その他が10%となった。保護者は、341世帯中161世帯の回答があり、統合に賛成が38%、反対が56%、その他6%となった。生徒も保護者も、反対が過半数を上まわった。生徒からの反対の意見は、次のとおりである。

- ・学区が相当広くなり、通学するのが大変
- ・今でも部活で人数が多いところもあるのに、統合したら十分練習ができなくなる。

保護者からの反対意見は、次のとおりである。

- ・統合しなくても各学年3クラスあり、ちょうど先生の目が行き届く規模にある。今、良い状態だと思うので、統合して人数が多くなり、生徒指導面でも学校が良くなるとは考えにくい。
- ・人数が多いことで学ぶこともあるが、問題も多くなるはずである。
- ・高校受験もあり、先生方にきめ細かな指導をしてもらえるか不安である。
- ・部活は増えるかもしれないが、今でも場所を分担して使用している状況で、かえって部活動をやる場所がなく、活動範囲は狭くなると思う。
- ・統合しなければならない理由がない。今の規模が続く推計なら、統合する必要はない。
- ・子どもの抱える様々な問題もあり、今のままでいいと思う。
- ・中学生はどの生徒にとっても大事な時期なので、慎重に検討してもらいたい。
- ・生徒指導面の理由から、あえて西中に通っているお子さんが何人もいるし、逆のパターンもあるので統合したくない。

このようなアンケート結果と南中の現状から考えると、南中は現在10クラスで、小規模校であるが、保護者や生徒は一応に満足した学校生活を過ごしており、小規模校ゆえの不自由さはほとんど感じていない。統合すれば部活動の数や部員数が増えて

学校に活気が出ることは間違いないと思われるが、かえって部活動を行う場所も少なくなり、十分な練習ができなくなるといった心配をしてくる意見も多くあった。

また、生徒同士のトラブルもあるが、小規模校ゆえに先生の目も届きやすく、きめ細かく対応してもらっているからこそ、今の状況があるということを感じとっている。

統合して、先生の数が増えたとしても倍にはならないが、生徒指導上の問題は倍以上に増えることが予想され、多くの生徒・保護者は統合に危機感すら持っている方が結構いる。また、小学校時代に友だち同士のトラブルを抱えて中学校に入学してくる生徒もおり、千城台に中学校が2校あることが、救いになっている生徒もいる。

そういう切実な意見もある。

様々な現状を踏まえて、現在の学級数で続くのであれば、「あえて統合する必要性はない」と判断している生徒、保護者が半数を超えているため、南中PTAは中学校統合の必要性はないと判断している。

〈來住委員〉

西中では、南中と同様のアンケートを生徒・保護者にとった。西中の結果は、生徒については統合に賛成16%、反対74%、その他10%、保護者については統合に賛成25%、反対64%、その他11%となり、統合に反対ということになった。

生徒からの反対の意見は、主に次のとおりである。

- ・通学距離が遠くなる可能性がある
- ・西中の良さがなくなる
- ・生徒数が多すぎるのは不便そう
- ・部員数が多いと練習しづらい
- ・母校がなくなるのはいやだ
- ・生徒数が増えるのは面倒くさそう
- ・今の西中に満足している
- ・千城台に2校の中学校があっても良い
- ・統合により校風が乱れる
- ・近隣に学校があるから交流ができる
- ・南中の校舎には特別支援学級の設備がない
- ・今までのイベントがなくなる
- ・3年生は受験がある

保護者からの反対の意見は、次のとおりである。

- ・今の西中がすばらしい
- ・生徒数が多すぎると思う
- ・通学距離が遠くなるのは困る
- ・特別支援学級の子どもたちが心配
- ・現状が適正なのでは
- ・統合のメリットがわからない
- ・受験を含めて多感な時期
- ・デメリットの方が多い
- ・教室が足りない
- ・統合はまだ早い
- ・いじめなどのトラブルの時、2校あれば逃げ道がある
- ・生徒数が増えると先生の目が届きにくい
- ・地域から統合希望が出るまで待ったほうが良い

このようなアンケート結果となったが、西中の現状を考え、統合に向けて協議するならば、ぜひ不登校の対策をとっていただきたいと考える。第19回協議会の資料3に教職員の構成が示されているが、千城台地区の小学校5校の教職員数は、25年度は122人であり、統合して1校になった場合は81人となり、41人の削減となる。

同様に中学校も2校から1校に統合した場合、教職員数は15人減ることになる。

自分の子が小学校に在籍していた時に、不審者対応で校長先生自ら下校指導し、子どもを家まで送り届けていただいた。統合するのであれば、教職員削減の経費を使い、安心・安全の対策についてももしっかり行っていただきたいと思う。

〈栗山委員〉

中学校代表に確認するが、統合には反対の立場か。

- 〈來住委員〉 個人的には、どちらとも言えない。学校全体としては反対となったが、個人的には不登校や安心・安全についての対策を確実に行うことができるのであれば有り得ると考える。
- 〈栗山委員〉 各団体の代表の考え方で、大きく大勢が変わると思う。今回の中学校のアンケート結果は、子どもの親として残念である。
- 〈來住委員〉 中学生は、初めての受験を控えている。過去・現在・未来にわたっても、実際にその立場になれば、アンケート結果のような考えになると思う。先ほどから述べているが、この中学校3年間を様々な面でどれだけアシストできるかだと思う。
- 〈栗山委員〉 子どもたちのために、統合に向けての協議を行っていることは間違いない。
- 〈笹川委員〉 今回は、中学校の統合協議にあたり、改めてアンケート結果と中学校の現状を説明させていただいた。
- 〈鈴木委員〉 話は戻るが、小学校は1日も早く統合する気はあるのか、中学校の統合が前提条件ということだが理解しにくい。本当の理由が知りたい。小学校を先に統合できないのか。
- 〈氏家会長〉 小学校については、統合シミュレーションを51通り→12通り→6通り→2通りまで絞ってきた。2通りのA案、B案の中で、特にB案については、1つの小学校区内に中学校が2校残ることになり、物理的な条件から中学校2校を1校にしないとB案を選択できないことになることから、先に中学校の統合協議をすることとなった。
- 〈鈴木委員〉 会長の説明は理解できたが、前提条件ということが理解しにくい。また、教育委員会の資料説明の中で、適正配置を進めているということを知ったが、中学校が統合した場合、ちょうど適正規模となる。そうであるならば、もっと積極的になって方向性を示していけないのか。
- 〈事務局〉 参考資料5に教育委員会の考えが載っている。適正配置実施方針において、学校規模、すなわち学級数からすると千城台地区の小・中学校については小学校2校、中学校1校にするように示している。しかし、これは規模から見た場合であり、通学距離や安全面なども考慮し、いろいろな状況を考えた中で、最終的に統合するかどうかの方向性を見出し決めていただきたい。小学校を先に統合するのか、中学校が先なのか等も含めて協議いただきたい。
- 〈佐々木委員〉 中学校では、不登校の生徒がかなりいるということだが、その理由は何か。
- 〈來住委員〉 家庭内の事情や友だち関係が多いようである。私としては、1人でも多くの生徒が学校に登校してほしいと願っている。統合して、不登校が増えてしまってはならない。
- 〈栗山委員〉 小学校統合シミュレーションのB案では、中学校は1つとならざるを得ない。どうしたら、中学校のアンケート結果のような考えがなくなり、負担が少なくなるのか考えた方がよい。
- 〈石原委員〉 今の小学生が中学生になったら、アンケート結果が変わるのか。
- 〈栗山委員〉 無理して現在の中学生が関わる年度に統合しなくてもよいと思う。
- 〈石原委員〉 中学校の統合を待って、小学校の統合をしないのはどうか。
- 〈佐々木委員〉 小学校では27年4月の統合が先送りになったが、今後の協議の進め方を確認したい。
- 〈事務局〉 先行地区の協議会では、地区の状況等によって協議の進め方や進み具合が違う。
- 〈氏家会長〉 会長としても、協議の進み具合が遅れていることに対して責任を感じている。次の話し合いのターゲットをどこにするのかを決めて、段階を踏んで進めていきたい。
- 〈佐々木委員〉 どこかが歩み寄らないと、協議がまとまらないと考える。
- 〈奥田委員〉 本日は何を持ち帰って、次回までに話し合ってきたらよいのか。

- 〈氏家会長〉 提案だが、小学校・中学校のPTA会長同士で、それぞれの学校に対して説明し合えばよいのではないかと。
- 〈笹川委員〉 南中の保護者については、統合賛成は約4割である。今回は、現状を説明させていただいたが、小学校のPTA会長たちが、中学校に説明に来ていただいても構わないと考える。
- 〈氏家会長〉 1つ確認するが、小学校側から意見があったが、自治会全体がB案に反対しているわけではないことはご理解いただきたい。選択の問題として36自治会はA案61%、B案21%、不明18%、と表明している。各団体から要望があれば、私も説明に伺わせていただきたい。
- 〈事務局〉 教育委員会としても、ご連絡いただければ、ぜひ説明に伺わせていただく。

## **議題（2）次回の開催日時と場所について**

- 〈菅原議長〉 協議（2）「次回開催日時・場所」に入る。事務局から説明をお願いする。
- 〈事務局〉 概ね2か月に1度のペースで、「金曜日の夜に開催する」ということで実施してきた。各団体で協議内容を持ち帰り、報告会や説明会を実施する期間も必要になることから、具体的には 来年1月10日（金）18：30～でいかがか。
- 〈笹川委員〉 もう少し早く、12月ごろに開催できないか。
- 〈氏家会長〉 今回は、説明会等を実施していただくために、中学校についても、小学校の統合協議で示した「協議の論点整理表」を事務局に作成してもらい、それを説明会に利用して進めていただきたいと考える。そのために十分な期間をとることとしたい。
- 〈事務局〉 事務局で、アンケート調査結果等も含め、「協議の論点整理表」を作成する。
- 〈菅原議長〉 それでは、次回協議会は来年1月10日（金）18：30～でよいか。
- 〈一同〉 異議なし（了承）

## **議題（3）その他**

- 〈菅原議長〉 協議（3）「その他」であるが、委員の方々から何かあるか。
- 〈一同〉 特になし

## **（4）連絡**

- ・ 次回協議会は、来年1月10日（金）18：30～20：30、千城台公民館で開催する。
- ・ 本日の議事要旨（案）を作成し、委員の方々に郵送し確認していただく。期日までに回答がない場合は「修正なし」とさせていただきます。
- ・ 本日の協議内容について、各団体の方々にもお知らせいただきたい。事務局に「説明・意見交換」の要望があれば連絡いただきたい。

## **（5）会長挨拶（氏家会長）**

本日も長時間にわたり真摯な協議に感謝する。